

town topics

まちの話題

このコーナーは、町の話や活動などを紹介しています。情報があれば、市役所秘書広報課まで。

☎ 22・3111 内線 207



▲12グループに分かれての講習



▲必死に心臓マッサージ

「第12回救急ナイトスクール2011」に約130人が参加し、心肺蘇生法を学びました。実行委員長の富原均さんの講演に続いて、西脇中学校の生徒が寸劇で心臓マッサージとAEDの実演をしました。その後、参加者全員が心肺蘇生法を実践し、併せてAED使用の指導も受けました。

生涯学習まちづくりセンター

12/8 かけがえのない命を救うために

1/31 「西脇市美術協会写真部」展を開催

市役所2階ロビー



▲写真部の皆さんの作品

市役所2階の郷土作家ギャラリーでは、西脇市美術協会写真部の皆さんの作品を展示しています。展示は1月31日まで（土・日・祝日は除く）。

- ◆梅田邦彦 ◆来住禎之 ◆小松幸男 ◆阪上 清
- ◆辻 里美 ◆廣田国子 ◆松岡達郎 ◆松田 孟
- ◆松田由佳 ◆宮原武美 ◆伊藤幸雄

※敬称略



▲記念展の冒頭にあいさつをする伊藤幸雄美術協会会長

12/4 「響流」をテーマに60周年記念展



▲記念展の様子

西脇市美術協会60周年記念展が開催され、会員63人が89点の作品を出展しました。また、協会員として内外で活躍された故人10人の作品も展示されました。美術協会は、昭和27年、西脇市が誕生して間もないころに、美術愛好者が集まって結成されました。以来、半世紀以上にわたって市の芸術文化振興の先駆者として、地域文化向上の原動力となっています。

市民会館

12/4 8組のカップルが成立～出会いのパーティー

西脇ロイヤルホテル



▲成立した8組は喜びいっぱい

市民グループ「西脇未来予想図の会」主催で、身男女の出会いのパーティーが開かれました。男女各18名が参加したパーティーでは、クリスマスを前に素敵な出会いを求めて積極的に会話をしむ人が多く、オリジナルケーキづくりやミニゲームを通じて仲を深めました。最後に、ナリの投票を行い、見事に8組のカップルが誕生しました。



▲点訳した絵本を手にして「はい、ポーズ!!」



▲教育長に点訳絵本を手渡す生徒

西脇高校生活情報科3年生が、「つるのおんがえし」や「いっすんぼうし」など、点字絵本13冊を寄贈しました。これらは昨年9月から西脇点訳友の会の福井敬朗会長とそのメンバーの指導を受け、心を込めて作り上げたもの。寄贈は平成11年から行われ、これまでに113冊の点字絵本をいただきました。点字絵本も貸し出ししていますのでご利用ください。

図書館

12/15 心を込めて作った「点字絵本」を図書館へ

12/10 名古屋気象台長がお天気情報を解説

にしわき経緯度地球科学館



▲アメダス観測機の説明をする高瀬邦夫名古屋地方気象台長

テラ・ドームで「お天気教室in西脇」を開催。講師には西脇市出身で名古屋地方気象台長を務める高瀬邦夫さんをお招きし、お天気情報などについて、分かりやすく説明いただきました。

12/3 消費者の正しい情報判断とは

マナビータ・ホール



▲熱心に聞き入る受講者

食品安全ネットワーク会長の米虫節夫氏をお迎えし、「食の安全・安心と正しい情報判断」と題して、講演会を開催しました。さまざまな食品関連事件が相次ぐ中で、氾濫する情報をうのみにせず、正しく理解し、自ら考え、どのように行動すれば良いかを判断する能力を養う必要性とその手法について教えていただきました。

12/1 安全運転を街頭啓発



▲ドライバーに安全運転の呼びかけ

年末の交通事故防止運動の一環として、夕暮れ時の交通安全「ホテル作戦」がアピカ。前交差点で実施されました。日暮れが早まり、また、年末を控えた慌しさから事故を起こさないよう、西脇多可交通安全協会が中心となり街頭啓発。アピカ前交差点で、ドライバーや自転車の学生たちに早めのライト点灯や反射材の着用を訴えました。

アピカ前交差点